

87 番の歌 爽やかになれる場所

兄弟姉妹との友情を深めるのは素晴らしいこと

「兄弟たちが一致して共に住むのは、何と素晴らしいことだろう。何と心地よいことだろう」。
←詩編 133:1

ポイント：どうすれば兄弟姉妹との友情を深められるでしょうか。その友情がかけがえのないものといえるのはどうしてでしょうか。

1-2. エホバにとって特に大切なことは何ですか。エホバは私たちに何を願っていますか。

私たちが周りの人にどう接するかは、エホバにとってとても大切です。イエスは、隣人を自分自身のように愛さなければいけないと教えました。（マタ 22:37-39 イエスは言った。「『あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならぬ』。38 これが最も重要な第一のおきてです。39 第二も同様で、こうです。『あなたは隣人を自分自身のように愛さなければならない』。この言葉は、エホバに仕えていない人にも親切にするように、ということでもあります。そうすれば、私たちはエホバに倣うことができます。エホバは「悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださる」方だからです。（マタ 5:45 自分が天にいる父の子であることを示すためです。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるのです。）

2 エホバは全ての人を愛していますが、エホバから見て正しいことをする人を特に愛しています。（ヨハ 14:21 私のおきてを受け入れてそれに従う人は私を愛しています。さらに、私を愛する人は父に愛されます。そして私はその人を愛して、自分のことをはっきり知らせます。エホバは私たちにも同じようにしてほしいと思っています。それで兄弟姉妹を「熱烈に愛し」、「優しい愛情」を注ぐように勧めています。（ペテロ 4:8 何よりも、熱烈に愛し合ってください。愛は多くの罪を覆う(*愛があれば多くの罪を許せる)からです。ロマ 12:10 兄弟愛を抱いて、優しい愛情を示し合いましょう。自分の方から進んで人を敬ってください。）この愛は、家族や親しい友人に感じるような温かい気持ちに似ています。

3. 聖書は愛について何と言っていますか。

3 植物が元気に育つには世話が必要のように、愛が成長するには努力が必要です。パウロも「兄弟愛を持ち続けてください」とアドバイスしています。（←ヘブ 13:1）エホバは私たちに仲間への愛を育ててほしいと思っています。この記事では、①仲間との友情を深めることがどうして大切か、②どうすればそうできるかを考えます。

仲間との友情を深めるのが大切なのはどうしてか

4. 兄弟姉妹がかけがえのない存在であることを忘れないために何ができますか。(詩編 133:1) (写真も参照。)

4 詩編 133:1 兄弟たちが一致して共に住むのは、何と素晴らしいことだろう。何と心地よいことだろう。を読む。エホバを愛する人たちとの友情は「素晴らしい[く]」, 「心地よい」ものです。とはいえ, 美しい景色も毎日見ていると新鮮味がなくなって, 当たり前のように感じる場合があります。同じように, 兄弟姉妹との絆も, やがて特に素晴らしいものではないように感じてしまうかもしれません。どうすればそうならずに済みますか。兄弟姉妹一人一人が会衆にとっても自分にとってもどれほど大切な存在であるかをじっくり考えるなら, 仲間への愛は大きく なっていきます。



クリスチャンの絆は当然のものではない。(4節を参照。)

5. 私たちが愛し合っている様子を見る人はどう感じますか。

5 初めて集会に来て, エホバの証人が互いを愛し合っている様子に心を打たれ, 「確かに本物のクリスチャンだ」と思う人もいます。イエスが言った通りです。「あなたたちの間に愛があれば, 全ての人, あなたたちが私の弟子であることを知ります」。(←ヨハ 13:35) チャイトラの経験したことを考えてみましょう。チャイトラは大学生で, エホバの証人と聖書を勉強していました。地区大会に招待され, 行ってみることにしました。大会初日を終え, チャイトラは聖書レッスンをしてくれていた姉妹にこう言いました。「これまで親からハグされたことなんて一度もないのに, 今日1日だけで52回もハグされました。私もこの家族の1人になりたいです」。チャイトラはレッスンを続け, 2024年にバプテスマを受けました。私たちが互いに温かく愛のこもった接し方をしている様子を見る人は, 自分もエホバに仕えたいという気持ちになります。(マタ 5:16 同じように, あなたたちの光を人々の前に輝かせなさい。そうすれば, 人々はあなたたちの立派な行動を見て, 天にいる父をたたえるでしょう。)

6. 兄弟姉妹との友情を深めるとどのように守られますか。

6 兄弟姉妹との友情を深めると, 正しい道からそれないように守ってもらえます。パウロは仲間のクリスチャンにこう言いました。「毎日励まし合い, 人を欺く罪の力によって頑固になってし

まうことがないようにしてください」。(ヘブ 3:13「今日」と呼ばれる時期が続く限り、毎日励まし合い、人を欺く罪の力によって頑固になってしまいうことがないようにしてください。) がっかりして正しい道からそれそうになるとき、エホバはそれに気付いた仲間を通して助けの手を差し伸べてくれます。(詩 73:2 私の足はもう少しでそれていくところだった。危うく滑るところだった、17 神の偉大な聖なる所に入るまでは。そして悪人の将来を知った、23 しかし今は、絶えずあなたと共にいる。あなたは右手をつかんでくださった。) そういうサポートをしてくれる仲間がいるのは素晴らしいことです。

7. クリスチャンの絆を守るのに愛が欠かせないといえるのはなぜですか。(コロサイ 3:13, 14)

7 愛し合うエホバの家族の 1 人だからこそ味わえる喜びがたくさんあります。(ヨハ 4:11 愛する皆さん、神がこのように私たちを愛してくださったのですから、私たちも愛し合わなければなりません。) 例えば、仲間を愛しているので「引き続き互いに我慢し」、クリスチャンの絆を守ることができます。(コロサイ 3:13, 14 引き続き互いに我慢し、寛大に許し合いましょう。たとえ誰かに不満を感じるとしてもです。エホバ(*)が寛大に許してくださったのですから、同じようにしなければなりません。14 これら全てに加えて、愛を身に着けましょう。愛は完全な絆なのです。を読む。エフエ 4:2-6 いつも謙遜で(*自分を低く見て)温和であり、辛抱し、愛を抱いて互いに寛容であってください。3 平和という絆で結ばれ、聖なる力による(*精神の)一致を保つよう真剣に努力してください。4 体は 1 つ、聖なる力(*精神)は 1 つです。皆さんが招かれて差し伸べられた希望も 1 つです。5 主はひとり、信仰は 1 つ、バプテスマ(*)は 1 つです。6 全ての人の父である神はひとりであり、全ての人の上で、全ての人を通して、全ての人の中で力を働かせています。) 私たちの集会にはほかのどこにもないような心地よい雰囲気があります。

仲間を敬う

8. 私たちが一つに結ばれるために、エホバはどんなことをしていますか。

8 弱くて完璧ではない私たちが国を超えて一つに結ばれていることは、本当にすごいことです。エホバの助けがなければできないことです。(コリ 12:25 体に分裂がないようにし、各器官が気遣い合うようにするためです。) 聖書によると、私たちは「神に教えられて愛し合って」います。(テサ 4:9 兄弟愛に関しては、書き送るまでもないでしょう。皆さんは神に教えられて愛し合っているからです。) つまり、エホバは聖書を通して仲間との友情を深めるためにどうしたらいいかを教えてくれているということです。「神に教えられ」るためには、聖書をよく学び、その通りにする必要があります。(ヘブ 4:12 神の言葉は生きていて、力を及ぼし、どんな両刃の剣よりも鋭く、人の外面(*ギ語プシュケー)と内面(*ギ語プネウマ)、骨(d*関節)と骨髄を分けるほど深く刺し通して、心の中にある考えや願いを明らかにすることができます。ヤコ 1:25 しかし、自由をもたらす完全な律法をじっくり見て守る人は、聞いてすぐに忘れるのではなく、行動します。そのような人は幸せになります。) エホバの証人はそのことに誠実に取り組んでいます。

9. 人を敬うことについて、ローマ 12 章 9-13 節からどんなことを学べますか。

9 兄弟姉妹との友情を深めるにはどうしたらいいでしょうか。ローマ 12 章 9-13 節皆さんの愛に偽善があってはなりません。悪いことは憎悪し、善いことにはしっかりと付きましょ。10 兄弟愛を抱いて、優しい愛情を示し合いましょ。自分の方から進んで人を敬ってください。11 怠けたりせず、よく働いてください。聖なる力によって熱意に燃えましょ。エホバに一生懸命仕えてください。12 希望によって喜びましょ。苦難に遭っても忍耐しましょ。粘り強く祈りましょ。13 困っている聖なる人たちと分け合ってください。人をもてなすことに努めましょ。にあるパウロの言葉を見てみましょ。（読む。）特に注目したいのは、「自分の方から進んで人を敬ってください」という表現です。どういう意味でしょうか。自分の方から「優しい愛情」を示す必要があるということです。例えば、快く許し、よくもてなし、気前よく与えることができます。（エフェ 4:32 親切な人になり、温かい思いやりを示し合い、神がキリストによって寛大に許してくださったように、寛大に許し合いましょ。）兄弟姉妹がそうしてくれるのを待つのではなく、「自分の方から進んで」行動しましょ。イエスが言った通り「受けるより与える方が幸福」です。（使徒 20:35 私は、このように真面目に働いて、弱い人たちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述べた『受けるより与える方が幸福である』という言葉覚えておかなければならないことを、あらゆる点で皆さんに示しました。）

10. 「人を敬って」いるなら、どのように仲間のために一生懸命働きますか。（写真も参照。）

10 パウロは、自分の方から進んで人を敬うようにと勧めたすぐ後、興味深いことにこう続けました。「怠けたりせず、よく働いてください」。これは与えられた仕事を一生懸命誠実に行う、ということです。格言 3 章 27、28 節あなた(*あなたの手)に助ける力があるときに、善を行うべき相手(*受けるべき人)にそうせずにはいてはならない。28 今、与えることができるのに、隣人に、「帰りなさい。また明日来たら、あげよう」と言うてはならない。にはこうあります。「あなたに助ける力があるときに、善を行うべき相手にそうせずにはいてはならない」。それで、困っている人がいるなら、その人のためにできることを何でも行います。自分がしなくても、誰かほかの人がやってくれるだろうとは考えません。助けの手を差し伸べることをためらわないようにしましょう。（ヨハ 3:17、18 生活に必要な物を持っている人が、困窮している兄弟を見ながら思いやりを示さないなら、その人は神を愛しているといえるのでしょうか。18 子供たち、口先だけの愛になってしまわないよう、行いによって誠実に愛を表しましょ。）



困っている仲間がいれば、進んで助けましょ。（10 節を参照。）

11. 仲間との友情を深めるために、ほかにどんなことができますか。

11 傷つけられた時、すぐに許すことによって人も人を敬うことができます。エフェソス 4 章 26 節腹が立っても、罪を犯してはなりません。怒ったまま日が沈むことがないようにしましょう。にはこうあります。「怒ったまま日が沈むことがないようにしましょう」。なぜでしょうか。続く 27 節悪魔に隙を与えてはなりません。にあるように、「悪魔に隙を与え」ないようにするためです。エホバは聖書の中で、許し合うようにと何度も勧めています。コロサイ 3 章 13 節引き続き互いに我慢し、寛大に許し合ひましょう。たとえ誰かに不満を感じるとしてもです。エホバ(*)が寛大に許してくださったのですから、同じようにしなければなりません。には「引き続き.....寛大に許し合ひましょう」とあります。仲間の欠点や嫌なところをいちいち気にするのではなく、大きな心で受け止めるなら、絆は強まっていきます。そうするなら「平和という絆で結ばれ、聖なる力による一致を保つ」ことができます。(エフェ 4:3 平和という絆で結ばれ、聖なる力による(*精神の)一致を保つよう真剣に努力してください。) いつも気持ちよく許し合うなら、仲間との絆は強まります。

12. 人を許せるよう、エホバはどんなふうに助けてくれますか。

12 自分を傷つけた人を許すのは大変だと感じるかもしれません。でも、エホバから聖なる力をもらえば許すことができます。「優しい愛情を示し合ひましょう」、「よく働いてください」という言葉に続いて、聖句には「聖なる力によって熱意に燃えましょう」とあります。ここでいう「熱意に燃え[る]」とは、「神の『聖なる力』.....を受けて、熱意や熱心さがあふれていることやそれらを発揮している」という意味です。(ローマ 12:11 怠けたりせず、よく働いてください。聖なる力によって熱意に燃えましょう。エホバに一生懸命仕えてください。の注釈を参照。) 正しいことをするには、聖なる力がどうしても必要です。聖なる力がなければ、優しい愛情を示すことや許し合うことはできません。それで「聖なる力を下さい」と真剣にエホバにお願いしましょう。(ルカ 11:13 それで、あなたたちが罪深い人間でありながら、子供に良い贈り物を与えることを心得ているのであれば、まして天の父は、ご自分に求めている人に聖なる力を与えてくださるのです。)

「分裂があってはなりません」

13. 何がきっかけで仲間との絆にひびが入ることがありますか。

13 会衆には「あらゆる人」、つまりいろいろな経歴や生い立ちの人がいます。(テモ 2:3, 4 そのように祈ることは、私たちの救い主である神から見て良いことであり、受け入れられることです。4 神は、あらゆる人が救われて、真理の正確な知識を得ることを望んでいます。) それで、選択に幅がある分野でどんな判断をするかは、人によって違います。例えば、服装や身なり、エンターテインメント、医療の選択などです。気を付けていないと、そういう違いがきっかけで仲間との絆にひびが入ってしまうことがあります。(ロマ 14:4 他人の召し使いを批判するとは、あなたは何者なのですか。その人が立つのも倒れるのも、その人と主人との間でのことなのです。実際、その人は立つようにされます。エホバはその人を立たせることができるからです。コリ 1

1:10 兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によって勧めます。皆さんが語る事柄は一致しているべきです。分裂があってはなりません。同じ思い、同じ考え方でしっかりと団結してください。) 自分の基準や好みにこだわらないようにしましょう。エホバは私たちに愛し合うようにと教えているからです。(フィリ 2:3 対抗心を抱いたり、自己中心的になったり(*うぬぼれたり)してはなりません。謙遜になり(*自分を低く見て)、自分より他の人の方が上だと考えてください。)

14. 私たちはいつも仲間にどのように接したいと思いますか。どうしてですか。

14 私たちはいつも兄弟姉妹に爽やかに接して元気づけることによって、会衆の絆を守ることができます。(テサー 5:11 それで、すでにしている通り、これからも励まし(*慰め)合い、力づけ合ってください。) 最近、会衆から除かれていた人やしばらく伝道に出ていなかった人が、たくさんエホバの家族に戻ってきています。本当にうれしいことです。ぜひ温かく迎えたいと思います。(コリ 2:8 それで皆さんに勧めます。皆さんの愛をその人に確信させてください。) 10 年ほどエホバの証人としての活動をしていなかったある姉妹は、久しぶりに集会に来てこう言いました。「みんなが笑顔で私の所に来て握手してくれました」。(使徒 3:19 ですから、罪を消し去っていただくために、悔い改めて生き方を変えなさい。そうすれば、爽やかにする時期がエホバから来て、) 仲間の温かさに触れて姉妹はどう感じたでしょうか。こう言っています。「エホバに優しく手を引かれて家族のところに帰ってこれた、と思いました」。いつも仲間を元気づけるなら、「疲れていて、荷を負い切れない人」を爽やかな気持ちにしたいと思っている、イエスに協力することができます。(マタ 11:28, 29 疲れていて(if*労苦し/悪戦苦闘し)、荷を負い切れない人は皆、私の所に来てください。そうすれば、爽やかにしてあげましょう。29 私と共に働いて、私から学んで(*私の弟子(私から学ぶ人)になって)ください。私は温和で、謙遜だからです。あなたたちは爽やかさを感じるでしょう。)

15. 仲間との絆を強めるために、ほかにどんなことができますか。(写真も参照。)

15 絆を強めるためにできる別のことは、話す前によく考えることです。ヨブ 12 章 11 節 耳は、言葉を確認めないだろうか。舌(d*上顎)が食物を味わうのと同じように。にはこうあります。「耳は、言葉を確認めないだろうか。舌が食物を味わうのと同じように」。料理を作って誰かに食べてもらうときには、まず味見をするはずです。同じように、話す前に自分が言おうとしていることについてよく考えるのは大切です。(詩 141:3 エホバ、私の口を見張り、唇を監視してください。) いつも「聞く人のためになる」ような言葉を話して仲間を元気づけ、爽やかにしましょう。(エフエ 4:29 不快な(d*腐った)言葉を口から出してはなりません。その場に合った励ましの言葉を述べて、聞く人のためになるようにしましょう。)



話す前によく考えましょう。(15 節を参照。)(料理を作って誰かに食べてもらうときには、まず味見をするはず)

16. 特にどんな人たちは話すことに気を配るべきですか。

16 夫や親が、言葉で妻や子供を元気づけることは大切です。(コロ 3:19 夫の皆さん、妻を愛し続けてください。ひどく怒って(*つらく当たって)はなりません、21 父親の皆さん、子供をいらいらさせて気落ちさせることがないようにしてください。テト 2:4 そうすれば、若い女性に次のことについて助言を与えられる(*意識させることができる/訓練を施せる)でしょう。夫を愛すること、子供を愛すること、) 長老たちも、仲間が爽やかになり元気になるような話し方を心掛けるべきです。兄弟姉妹はエホバの羊だからです。(イザ 32:1, 21 人の王が正義のために統治する。高官たちが公正のために治める。2 彼らはおのおの、風から逃れるための場所、暴風雨から避難するための場所、水のない土地に流れる水、乾き切った土地にある大岩の陰のようになる。ガラ 6:1 兄弟たち、誰かが道を踏み外したなら、たとえ気付かずにそうした場合でも、クリスチャンとして十分に資格がある(*聖なる力に導かれている)皆さんは、その人を優しく(*温和な精神で)正すことに努めてください。そして、自分も誘惑されることがないように注意してください。) 聖書の格言にはこうあります。「適切な時に話される言葉は、何と良いのだろう」。(格 15:23 人は適切な答えをすることに喜びを感じる。適切な時に話される言葉は、何と良いのだろう。)

「行いによって誠実に」愛しましょう

17. 兄弟姉妹を心から愛しているなら、どんなことをしたいと思いますか。

17 使徒ヨハネはこう勧めています。「口先だけの愛に終わらないよう、行いによって誠実に愛を表しましょう」。(ヨハ 3:18 子供たち、口先だけの愛に終わらないよう、行いによって誠実に愛を表しましょう。) 私たちは仲間を心から愛したいと思っています。そのために何ができるでしょうか。兄弟姉妹と一緒に時間を過ごせば過ごすほど、その人のことをもっと身近に感じ、もっと好きになります。集会や伝道で仲間と過ごす時間を大切にしましょう。家に立ち寄ることもできます。こういうことに取り組むと、「神に教えられて愛し合っている」ことになります。(テサ 4:9 兄弟愛に関しては、書き送るまでもないでしょう。皆さんは神に教えられて愛し合っているからです。) きっと、次の言葉の通りだと感じられるはずです。「兄弟たちが一致して共に住むのは、何と素晴らしいことだろう。何と心地よいことだろう」(←詩 133:1)

何を学びましたか

1. 兄弟姉妹との友情を深めたいと思うのはどうしてですか。

・S04 エホバを愛する人たちとの友情は素晴らしく、心地よいものでも、美しい景色も毎日見ていると新鮮味がなくなってしまうように、兄弟姉妹との絆も、やがて特に素晴らしいものではないように感じてしまう危険がある。それで、兄弟姉妹一人一人が会衆にとっても自分にとってもどれほど大切な存在であるかをじっくり考える必要がある。

・S05 私たちが互いに温かく愛のこもった接し方をしている様子を見る人は、私たちが本物のクリスチャンだと感じ、自分もエホバに仕えたいという気持ちになるかもしれない。

- ・S06 兄弟姉妹との友情を深めると、たとえ自分がかっかりして正しい道からそれそうになっても、エホバはそれに気付いた仲間を通して助けの手を差し伸べてくれ、正しい道からそれないように守ってもらえます。
- ・S07 愛し合うエホバの家族の1人だからこそ味わえる喜びがたくさんある。私たちの集会にはほかのどこにもないような心地よい雰囲気がある。

2. どのように自分の方から仲間を敬えますか。

- ・S09 兄弟姉妹が行動してくれるのを待つのではなく、自分の方から「優しい愛情」を示すこと、例えば、快く許し、よくもてなし、気前よく与えることができる。
- ・S10 困っている人がいるなら、その人のためにできることを何でも行う。自分がしなくても、誰かほかの人がやってくれるだろうとは考えず、助けの手を差し伸べることをためらわないようにする。
- ・S11-12 傷つけられた時、すぐに許す。仲間の欠点や嫌なところをいちいち気にするのではなく、大きな心で受け止める。聖なる力がなければ、優しい愛情を示すことや許し合うことはできないので、「聖なる力を」真剣にエホバに願い求める。

3. 仲間との絆を守るために何ができますか。

- ・S13 服装や身なり、エンターテインメント、医療の選択など選択に幅がある分野でどんな判断をするかは、人によって違うので、気を付けていないと、そういう違いがきっかけで仲間との絆にひびが入る危険があるので、自分の基準や好みにあまりこだわらないようにする。
- ・S14 私たちはいつも兄弟姉妹に爽やかに接して元気づけることによって、会衆の絆を守れる。会衆から除かれていた人やしばらく伝道に出ていなかった人が、エホバの家族に戻ってきたときに、温かく迎える。
- ・S15 話す前に自分が言おうとしていることについてよく考えて、いつも「聞く人のためになる」ような言葉を話して仲間を元気づけ、爽やかにするよう努める。
- ・S16 夫や親が、言葉で妻や子供を元気づけ、長老たちも、仲間が爽やかになり元氣になれるような話し方を心掛ける。

90 番の歌 励まし合いましょう

^ (詩 133:1) 兄弟たちが一致して共に住むのは、何と素晴らしいことだろう。何と心地よいことだろう。

^ (マタ 22:37-39) イエスは言った。「『あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならない』。38 これが最も重要な第一のおきてです。39 第二も同様で、こうです。『あなたは隣人を自分自身のように愛さなければならない』。